

# 奥田太郎

● 選書・コメント



おくだ・たろう

道徳感情からドーナツの穴まで哲学的に探究する雑食系の倫理学者。倫理学がいかなる専門知であるのか（倫理学は何をしているのか）を基軸の問いとして、様々なジャンルの専門知の混在する職場で、倫理的諸問題に対して哲学的に取り組む。哲学カフェでの哲学対話にも携わり、哲学専門知の境界を探っている。



隠岐さや香

『科学アカデミーと「有用な科学」』

フィリップ・J・ヒルツ

『タバコ・ウォーズ』（小林薫訳）

磯野真穂 『ダイエット幻想』

中原聖乃 『放射能難民から生活圏再生へ』

戸田山和久 『教養の書』

宮野真生子／磯野真穂

『急に具合が悪くなる』

L・A・ポール

『今夜ヴァンパイアになる前に』

（奥田太郎／薄井尚樹訳）

奥田太郎 『倫理学という構え』

唐沢穰／松村良之／奥田太郎編

『責任と法意識の人間科学』

芝垣亮介／奥田太郎編

『失われたドーナツの穴を求めて』

## 専門知を 再考する

邦訳刊行記念ブックフェア

名古屋大学出版会

# 小林傳司

● 選書・コメント



こばやし・ただし

日本の科学技術社会論を立ち上げた創設者の一人。大阪大学にて、文理共通の大学院教育の導入をはじめ、社会と大学を接続する事業を牽引した。現在は、日本の新たな学術研究支援のためのファンディング設計など、広く専門知を支える社会的枠組みのデザインに携わっている。

トマス・サミュエル・クーン

『科学革命の構造』(中山茂訳)

ミカエル・ポランニー

『個人的知識』(長尾史郎訳)

スティーヴン・シェイピン／  
サイモン・シャッフアー

『リヴァイアサンと空気ポンプ』

(吉本秀之監、柴田和宏／坂本邦暢訳)

アラン・ソーカル／ジャン・ブリクモン

『「知」の欺瞞』

(田崎清明／大野克嗣／堀茂樹訳)

ハリー・コリンズ

『我々みんなが科学の専門家なのか?』

(鈴木俊洋訳)

藤垣裕子／小林傳司編

『科学技術社会論の挑戦 1』

小林傳司

『誰が科学技術について考えるのか』

スティーヴ・フラー

『科学が問われている』

(小林傳司／調麻佐志／川崎勝／平川秀幸訳)

内山融／伊藤武／岡山裕編

『専門性の政治学』

ジェローム・ラベッツ

『ラベッツ博士の科学論』(御代川貴久夫訳)

ブルーノ・ラトゥール

『科学論の實在』(川崎勝／平川秀幸訳)

シーラ・ジャサノフ 『法廷に立つ科学』

(渡辺千原／吉良貴之監訳)

藤垣裕子 『専門知と公共性』

店頭には在庫がない書籍もございます。あしからずご了承ください。

## 専門知を 再考する

邦訳刊行記念ブックフェア

名古屋大学出版会

# 伊勢田哲治

● 選書・コメント



いせだ・てつじ

日本を代表する科学哲学者であり、倫理学者でもある。疑似科学と科学の線引き問題、社会認識論などを通じて、幅広い視点から「科学とは何か」について哲学的に問い続けている。また、物理学者との火花散る論戦に真正面から挑むなど、学術的な異文化交流にも積極的に取り組む。

クリストファー・チャーニアク

『最小合理性』（柴田正良監訳、  
中村直行／村中達矢／岡庭宏之訳）

アラン・ソーカル／ジャン・ブリクモン

『「知」の欺瞞』  
（田崎清明／大野克嗣／堀茂樹訳）

クリスティン・シュレーダー＝フレチェット

『環境リスクと合理的意思決定』  
（松田毅監訳）

ラリー・ラウダン

『科学と価値』（小草泰／戸田山和久訳）

トマス・サミュエル・クーン

『科学革命の構造』（中山茂訳）  
『科学革命における本質的緊張』  
（安孫子誠也／佐野正博訳）  
『構造以来の道』（佐々木力訳）

安東量子『海を撃つ』

江間有沙『AI 社会の歩き方』

須藤靖／伊勢田哲治

『科学を語るとはということか』

伊勢田哲治『認識論を社会化する』

伊勢田哲治／戸田山和久／調麻佐志／村上  
祐子編『科学技術をよく考える』

伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』

店頭には在庫がない書籍もございます。あしからずご了承ください。

専門知を  
再考する

邦訳刊行記念ブックフェア

名古屋大学出版会

# 児玉 聡

● 選書・コメント



こだま・さとし

何かと評判の悪い功利主義を自らの哲学的スタンスとして明確に掲げて、生命倫理を中心とする倫理的諸問題に取り組む、日本の倫理学の旗手。終末期医療、貧困問題、進化論など、多様なトピックについての著書や翻訳書などを通じて、倫理的な「対話型専門知」の習得へと一般の人々を導く試みにも精力的に携わっている。



店頭には在庫がない書籍もございます。あらかじめご了承ください。

児玉聡『実践・倫理学』

スコット・ジェームズ  
『進化倫理学入門』（児玉聡訳）

菱山豊『ライフサイエンス政策の現在』

有本建男／佐藤靖／松尾敬子  
『科学的助言』

米本昌平『バイオポリティクス』

加藤尚武『災害論』

H・G・ウエルズ  
『タイム・マシン 他九篇』（橋本槇矩訳）

児玉聡『功利主義入門』

児玉聡、なつたか漫画  
『マンガで学ぶ生命倫理』

伊勢田哲治、なつたか漫画  
『マンガで学ぶ動物倫理』

## 専門知を 再考する

邦訳刊行記念ブックフェア

名古屋大学出版会